

平成3年8月23日
北海道電力株式会社

低圧タービン静翼の溶接部等の亀裂

泊発電所2号機(加圧水型軽水炉 57万9千kW)は、平成3年7月27日から中間点検を実施していますが、タービン開放点検を行ったところ低圧タービン第12段(最終段)静翼280枚に溶接部及びその近傍に583箇所のき裂が発生していることが確認されました。(8月2日、8月6日発表済み)

当該静翼を詳細に調査した結果泊発電所1号機と同様、タービン出力が低く復水器真空度が低い場合に、静翼に当たる蒸気の流れに比較的大きな乱れが生じ、これにより低圧タービン静翼の溶接部に比較的高い変動応力が発生し、疲労によりき裂が発生したものと判明しました。

このため、当該静翼については1号機と同様、十分な溶接強度を有する溶接補修を行うこととしました。

以 上